

# KANSAI Univ. 関西大学通信 News

2011年  
11月15日  
第408号

*The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.*

## ■特集 第1回大阪マラソンレポート

■CAMPUS TOPICS  
商学部の荒木教授ゼミ生が山崎製パンと共同でランチパックを開発  
商人口ボット「トボクくん」「デレコちゃん」が天神橋筋商店街を疾走



10月30日、記念すべき第1回大阪マラソンが開催されました。

オフィシャルスポンサーの関西大学からは、関大代表ランナーとして16人の学生と3人の教職員、給水ボランティアとして約400人の学生、語学ボランティアとして22人の学生が参加しました。また、応援団をはじめ多くの学生団体が、コース沿道から観客と一緒にランナーを応援しました。STARTからFINISHまで大阪マラソンのレポートとともに、大阪マラソン直後にインタビューした参加者の声を届けます。



### ランナーサービスエリア総合案内

### START 大阪城公園前



### 千日前通・5km給水所

語学ボランティアの関大生が外国人ランナーやゲストをサポート。STARTからFINISHまで合計3ヵ所で通訳・ガイドを担当しました。

9時の合図とともに、大阪府庁前から3万人のランナーが順次スタート。橋下徹大阪府知事(当時)と平松邦夫大阪市長もランナーに声援を送ります。

給水ボランティアとして関大生や関大併設校の生徒が、次々と駆け抜けるランナーの水分補給をサポート。給水の作業だけではなく、ハイタッチを交わしたり声援を送るなど、全力でランナーを応援しました。



### 「マラソンウェディング」も開催

### FINISH インテックス大阪

### 大阪市西南環境事業センター前

### 中央公会堂前

大阪マラソンにランナーとして参加し完走した、台湾出身の新郎Fung Ying Kiさんと新婦Mandy Choyさんの結婚式を政策創造学部の学生がプロデュース。大切な記念日を全力で祝いました。

ゴール付近は、ランナーの到着を待つ家族や友人をはじめ多くの観客が集結。関大代表ランナーは、19人全員が完走しました。

文化会混声合唱団「葦」、チャリディング同好会「CRAIRS」、ベリーダンスサークル「Belly Divas」の学生が、約7km先のゴールまで走り切れることを願ってランナーを応援しました。

応援団リーダー部、応援団バトン・チャリリーダー部、応援団吹奏楽部の学生が、ランナーに元気を与えるパフォーマンスを披露しました。

## 参加した関大生の声



### 語学ボランティア(中国語)

小山 明里さん(外3)

大阪マラソンを支えることができて光栄です。「Study Abroad」で中国に1年間留学していたので力試しになりました。



### 語学ボランティア(英語)

西谷 翔さん(文4)

今まで英語は自分にとって役立つツールでしたが、他の人の役に立つ機会だと思ったので参加しました。大阪マラソンに関わり、自分も温かい気持ちになりました。



### ランナー

前田 祐輝さん(環都1)

3:41:36(ネットタイム)で完走！トリアスロンサークルの仲間をはじめ応援してくれる方のおかげで、孤独を感じず走り切れました。



### ランナー盛り上げ隊 応援団バトン・チャリリーダー部

藤本 紗也子さん(高4)

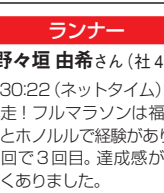
大阪マラソンアレンジパーティーの振り方で応援しました。多くのランナーが手を振ってくれて嬉しかったですね。



### 語学ボランティア(朝鮮語)

大平 歌毅さん(文1)

韓国に住んでいたことがあり、自分の韓国語を役立てることができる機会があればと思って参加しました。



### ランナー

野々垣 由希さん(社4)

4:30:22(ネットタイム)で完走！フルマラソンは福知山とホノルルで経験があり、今回で3回目。達成感がすごかったです。

### ランナー

高橋 知宏さん(商4)

4:30:22(ネットタイム)で初マラソン完走！20km付近で心が折れそうになりましたが、負けず嫌いなので必死についていきました。



### ランナー

藤原 章斗さん(商4)

4:30:23(ネットタイム)で初マラソン完走！沿道の知らない人もハイタッチをしてくれて、力をもらいました。

### ランナー

古谷 一秋さん(人2)

5:25:55(ネットタイム)で完走！せっかく大阪の大学に来ているので、関西から日本を盛り上げたいと思い参加しました。



### 給水ボランティア

森 翔太さん(商4)

ランナーに「ありがとう！」と言われて気持ち良かったです。頑張っている姿を見たら泣きそうになりました。



### 給水ボランティア

日隈 裕亮さん(法4)

規模の大きい大会なので大変でしたが、1人でも多くのランナーに完走してもらいたいと思って頑張りました。

### 給水ボランティア

加藤 綾香さん(社3)

水を汲んで淡々と作業するだけかと思っていましたが、ランナーに「ありがとう」と言われて、自分も元気をもらいました。

## 2011年度(第34回)関西大学統一学園祭を開催

千里山キャンパスで11月3日から6日、秋の一大イベントである統一学園祭が開催された。

ライブや講演会、模擬店の出店など学生によるさまざまな企画が行われ、今年も大きな盛り上がりを見せた。その企画の中から、『Kandai Dance Fes.2011』、『K.U. ROCK FEVER 9th』、『Laugh&Peaceお笑い王決定戦2011』の3つのイベントに学生広報スタッフが取材を敢行。イベントの様子と優勝者の声をお届けする。

### Kandai Dance Fes.2011

学園祭初日の11月3日、オープニングセレモニー直後に行われた『Kandai Dance Fes. 2011』。10組のダンスグループによる渾身のパフォーマンスで、会場を盛り上げた。そんな今大会の覇者は『Soul Beat Lockers』。青色のコスチュームが印象的な12人の男女混合グループだ。今大会最も素敵な笑顔でパフォーマンスを披露し、見事関大No.1ダンスグループに輝いた。



ステージ上にて紹介される出場者

#### 優勝者 Soul Beat Lockers

リーダーの川畑貴弘さん(社4)「優勝は信じられません。本番までの1カ月間は徹夜での練習も行き、この日に向けて頑張ってきました。今日のステージでは、今までの練習の成果を見せようと強い気持ちで挑み、見事優勝という栄冠を勝ち取りました。もうすぐ卒業なので、一緒に踊った後輩たちと良い思い出ができたと思います」



優勝した『Soul Beat Lockers』のみなさん

### K.U. ROCK FEVER 9th

学園祭2日目の11月4日、関大の音楽No.1を決定する大会『K.U.ROCK FEVER 9th』が開催された。9回目の今大会では、予選を勝ち抜いた6組のバンドと、ゲストバンド『ロマンチックス』がハイレベルなパフォーマンスを見せ、会場を湧かせた。総応募数15組の中から優勝に輝いたのは、4人組バンド『KIDS』だった。



盛り上がりを見せた『K.U.ROCK FEVER 9th』

#### 優勝者 KIDS

昨年に引き続き2度目の優勝を勝ち取った『KIDS』は、現在奈良を拠点に関西で活動中のエモーショナル・ポップバンドだ。「プレッシャーはあったが、それ以上に成長した自分たちの姿を見せることに力を入れようと思った。メンバー同士、そしてお客さんとの深い繋がりがあったからこそ優勝できた」と話すドラムの片貝直也さん(社3)は、今回の演奏を通して、人の絆を感じたという。



『KIDS』のメンバー／左からDr.片貝直也さん(社3)、Vo.Gt.奥野涼さん、Gt.Cho.植田隼人さん、Ba.藤村倫さん

### Laugh&Peace お笑い王決定戦2011

11月6日に開催された『Laugh & Peace お笑い王決定戦2011』は、今年で2回目を迎えるチャリティーとお笑いの融合をめざした企画だ。個性豊かな8組の参加者が、トーナメント形式で自らの「笑い」を武器にぶつかり合う。会場のBIGホールには多くの観客が詰め掛けるなど、関大生の笑いに対する意識の高さを感じることができたイベントだった。



『Laugh & Peace お笑い王決定戦2011』の様子

#### 優勝者 あとらんだむ

「絶対このネタで勝負してやろうと思った」。2人を優勝に導いたのは、昨年の同大会で「予選敗退」となってしまったネタだった。昨年の悔しさをバネにして、改良に改良を加えた。野球のヒーローインタビューをベースにしたコントは、ハイテンションでテンポが良く2人の個性が見事に表れている。「笑いに正解はない。価値観の違う2人の笑いを一つにするのがネタ作りの難しさ」と話す「あとらんだむ」の笑いは、会場全体を一つにした。



左から春山圭さん(経4)、菅川輝輝さん(経4)

取材・写真撮影協力：学生広報スタッフ 崎崎亜里紗(社1)、川田大介(社4)、菅原直亮(情4)、野口美保(社4)、藤井美帆(文2)、堀江智子(商4)

### 商学部の荒木教授ゼミ生が山崎製パンと共同でランチパックを開発



「紫いもあん＆ホイップ」のランチパック

商学部の荒木孝治教授ゼミの学生が「紫いもあん＆ホイップ」味のランチパックを山崎製パン株式会社と共同開発し、11月1日からコンビニや学内の生協などで発売が開始された。これは、魅力ある新商品を学生が企画・プロモーションを行い、山崎製パン株式会社が支援する産学連携プログラムで、関関同立の4大学がそれぞれ参加を決めた。

荒木ゼミの学生たちは、新商品開発のセミナーやランチパック製造工場の見学、試作品案の作成、試食など商品開発を実体験した。今後は、プロモーション活動を行っていくことにより商学部での学びを深めていく。関西大学のスクールカラーである「紫紺」をイメージした紫いもあんに、大福風に求肥とホイップク



荒木教授(写真後列左)とゼミ生、全員集合

リームが入っており、口当たり良く仕上げた。紫いもの風味にこだわり、半分に割って食べる人用に求肥を柔らかくするなど、改良を加え、試行錯誤を繰り返して作り上げた。

10月19日には、千里山キャンパス尚文館前広場でCM撮影が行われ、荒木教授のゼミ生らが出演した。このCMはMBS系列で11月1日から放送されている。

「紫いもあん＆ホイップ」のランチパックは1袋に2個入りで、希望小売価格157円(税込)※。関西一円のコンビニやスーパー、学内の各売店で買求めることができる。関大オリジナルのランチパックを是非ご賞味あれ。

※学内の生協売店では組合員価格で販売されていますので、店頭でご確認ください。



尚文館広場でのCM撮影の様子

### 商人ロボット「トボクくん」「デレコちゃん」が天神橋筋商店街を疾走

10月8日、大阪マラソンのPR活動として、システム理工学部の倉田純一准教授研究室で開発された商人(あきんど)ロボット「トボクくん」と「デレコちゃん」が天神橋筋商店街を走行した。途中タイヤが外れそうになるトラブルに見舞われたが、関西大学リサーチアトリエから天神橋筋1丁目商店街までの約1kmを無事完走した。

商人姿の「トボクくん」は倉田純一研究室が1998年から開発し、研究以外にも多くの高校や小学校、大阪市立科学館などでデモ機として活躍していた。卵型ロボット「デレコちゃん」は、代々の研究室に所属する学生たちに受け継がれ、改良された力作だ。

このロボットは事前に登録された色を識別し、その色を追跡しながら自動走行する仕組み。この日は市立扇町総合高校吹奏楽部も演奏しながら同行。買い物客や子どもたちが足を止めて見入る場面もあった。



左から「トボクくん」、「デレコちゃん」

日々の練習の成果を発揮し、全力で試合に臨み、輝いているアスリートたち。秋本番を迎え、まだリーグも残っているクラブが多いなか、いち早く結果を残した関大Kaisersの活躍を紹介します。彼らの輝きから目が離せない！

## テニス部女子

### 創部初の快挙！1部昇格を果たす

昨季、関西大学対抗リーグ戦において、2部リーグを3位で終え、1部昇格を逃したテニス部女子。再び「昇格」を目標に今季リーグを迎えた。

順調に白星を挙げ好スタートを切るが第3節では悔しい敗戦となる。この試合を機に「チームが話し合って一致団結した」と内仲葵主将（文学部4年次生）は振り返る。創部初の1部昇格を果たしたテニス部女子最終戦で優勝しリーグ2位となり入れ替え戦への切符を手にした。

迎えた相手は、神戸松蔭女子学院大。ダブルスは1勝1敗。続くS2の内田望允選手（文学部2年次生）は相手を圧倒。総合得点2-1となりS3には内仲主将が挑む。緊張感が漂う中、緩急のあるプレーで主導権を握り、2-0でゲームセット。主将自らが昇格を決定付け、関大サイドは歓喜に沸いた。

「来年は今年のスキルを上回って1部で暮らしてほしい」と内仲主将は笑顔で後輩へバトンを託した。長年の夢であった1部昇格を果たしたテニス部女子。来季、憧れの舞台で彼女たちの新たな挑戦が始まる。



創部初の1部昇格を果たしたテニス部女子最終戦で優勝しリーグ2位となり入れ替え戦への切符を手にした。

## バドミントン部女子

### インカレの舞台で女子創部初の3位

女子としてインカレ（第62回全日本学生バドミントン選手権大会）の舞台で創部初の3位という好成績を収めた室達茜女子リーダー（政策創造学部4年次生）と三納英莉佳選手（人間健康学部2年次生）ペア。初戦敗退で終わった昨年に比べ、今大会は大きな躍進を遂げた。

「結果を残したい」一心で日々の練習に取り組んできた2人。「良き理解者であり気持ちの面で支えてもらっている」植野コーチの存在も大きかった。

3回戦は今大会の目標、西日本で準優勝した「打倒・東海学院大」が相手だ。臆することなく攻めの姿勢を貫き勝利をつかむ。4回戦は強豪・日本体育大。強い気持ちで果敢に攻め込み、見事白星。迎えた準決勝。高校総体を制した法政大のルーキーペアには一歩及ばず0-2で敗れた。

ベスト4の快挙に「4年間の選手生活を良い形で締めくくれ、満足している」と室達選手。今大会の経験を糧に、先輩が果たせなかったインカレ優勝への思いを後輩が受け継ぐ。



賞状を手笑顔の三納選手（写真左）と室達選手

## アイススケート部

### 大差をつけアベック優勝

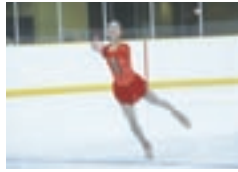
10月8日から10日に行われた近畿フィギュア選手権大会。多くの実力者たちが集う中、関大勢が圧倒的な力を見せつけ、男女ともに優勝を果たした。

女子フリーでは、村元小月選手（文学部3年次生）が総合142.32で準優勝した。続いてネーベルホルン杯で4位となった國分紫苑選手（社会学部2年次生）がジャンプを順調に成功させ「次につなげられるような演技ができた」と本人も語るように、総合152.33で見事1位に輝いた。

男子フリーでは、SP3位の山田耕新選手（政策創造学部2年次生）が最後のステップで見せ場を作り、演技をまとめて159.84で3位。昨年2位の町田樹選手（文学部4年次生）は最終滑走で登場し、最初の4回転ジャンプを決め会場を大いに沸かせた。スピンや表現力の面では他を圧倒し、総合206.12を叩き出し、2位以下に大差をつけ堂々の優勝を果たした。美しき氷上のアスリートたちから目が離せない。



4回転ジャンプを決めた町田選手



華麗な舞で観客を魅了した國分選手

## スキー競技部

### 全日本優勝、世界選手権9位と大躍進

「メダルを取る」。田中善之選手（総合情報学部3年次生）の長年の思いが世界選手権9位という結果につながった。勢いそのままに、全日本グラススキー選手権大会でも堂々とした滑りで、初制覇を成し遂げた。

グラススキーは前後のバランスを取るの難しい種目で、規制された6～13mの旗門の間を滑り抜ける回転競技だ。2本の試技を行って合計タイムを競う。家族の影響で、幼いころから練習に打ち込み世界に通用する選手へと成長。

万全な態勢で臨んだ今年の世界選手権では、半数以上の選手が次々と転倒していくなか、難易度の高いコースに挑み自己最高の世界9位でゴールし、大きな手応えをつかんだ。

1ヵ月後に行われた全日本では、安定した滑走で好タイムをマーク。ジュニアチャンピオンを逆転し、初優勝を飾った。

2013年には、日本で世界選手権が開催される。田中選手が世界の頂に立つ日は、そう遠くはない。



90km以上のスピードで滑り抜ける田中選手

## 主将から後輩に託す夢

### 野球部



主将 小林 龍之介さん（社会学部4年次生）

1年次生の時は何もわからずやっていた。2、3年次生はかむしゃらで先輩についていくことだけ。4年次生でやっと学生野球の意味がわかった。みんなで話し合っって楽しいことの大切さがわかった。後輩には、自分とはこういうプレイヤーだということアピールしてほしい。常に前を向いてほしい。

### バレーボール部女子



背番号1番が下敷領主将

主将 下敷領 ゆう子さん（文学部4年次生）

入学当初は楽しくやっていたんですが、主将になってからはチームを変えていけたと思います。身近に大切な仲間が出来たのは宝物です。上をめざせるチームなので、叶えられなかった1部昇格という目標に向かって、今からしっかり頑張ってください。

### ハンドボール部男子



主将 田月 裕也さん（文学部4年次生）

下級生のころは自分がうまくなろうとやってきたけど、キャプテンになり「チームが良い成績を残せたら」と思うようになった。西日本インカレとインカレで結果を残せて充実した4年間だった。実力ある選手ばかりなので、チーム丸となって新チームも頑張ってもらいたい。

## KUカレンダー 11/16-30

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
16日(水)	関西大学高槻ミュージズキャンパス 公開講座「高槻市と安全」	学生・教職員・一般	高槻ミュージズキャンパス
	会計専門職大学院 第3回会計リネッサンス・フォーラム	学生・教職員・一般	専門職大学院事務グループ
	経済・政治研究所 第193回産業界セミナー	学生・教職員・一般	研究所事務室
	郷原信郎客員教授による講演会	学生・教職員・一般	高槻ミュージズオフィス
18日(金)	第51回 泊園記念講座（～19日）	学生・教職員・一般	経商オフィス
	中井吉英客員教授による講演会	学生・教職員・一般	東西学術研究所内 泊園記念会
19日(土)	第31回「地方の時代」映像祭2011（11月19日～25日）	学生・教職員・一般	専門職大学院事務グループ
20日(日)	地域交流ワークショップ「丹波の秋の風景を探そう」	学生・教職員・一般	社会連携グループ
25日(金)	人権問題研究室 第68回公開講座	学生・教職員・一般	関西大学TAFS 佐治 & 千里山スタジオ
	文学部 学術講演会	学生・教職員・一般	法文問題研究室
26日(土)	大塚義孝客員教授による講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
	大学院外国語教育学研究科 第4回進学相談会	学生・一般	専門職大学院事務グループ
	大学院 合同進学説明会	学生	大学院入試グループ
	臨床心理専門職大学院 進学説明会	学生	大学院入試グループ
29日(火)	湯川豊客員教授による講演会	学生・教職員・一般	大学院入試グループ
	法学部 学術講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
30日(水)	津山直子客員教授による講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
	関西大学高槻ミュージズキャンパス 公開講座「高槻市と安全」	学生・教職員・一般	経商オフィス
	小野元之客員教授による講演会	学生・教職員・一般	高槻ミュージズキャンパス
		学生・教職員・一般	学長課

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。